

研究推進

本学は、2026年4月1日付で、新たな研究推進組織「社会共創推進機構※」を創設しました。研究成果を社会実装し、資源の乏しい我が国の発展に資するイノベーション創出につなげる、「研究の成果の社会還元」は、次世代を担う人材の育成とともに大学に課せられた社会貢献の大きな役割となっています。

※詳細は3頁「中央大学社会共創推進機構を創設」参照

+C（プラスシー） | 中央大学産学官連携プラットフォーム

Creative, Chance, Challenge, etc… あなたの未来に+（プラス）したい“C”はなんですか？

「+C（プラスシー）」は、中央大学の研究者と産業界が、目指す未来や目標を共有し、その実現に向けて「いい関係」で連携するための情報プラットフォームです。産業界と大学、それぞれのリソースを活かして予測不可能な時代に夢を描き、「パートナー」としてともに新たな未来を描くことを目指し、研究者のビジョンや研究内容、実際の産学官連携事例についてリアリティをもってお伝えしています。



＜詳細はこちら＞

大型研究の支援 | 科研費・学術変革領域研究 (A) の初・領域代表として採択

本学では、2025年度より、文学部教授の山口真美が領域代表を務めるプロジェクト「顔身体デザインの：実践・実証・設計に基づく顔身体の深化と昇華」を推進しています。この「学術変革領域研究 (A)」という大規模な研究種目で、本学の研究者がリーダー（領域代表）に選ばれるのは初めての快挙です。

私たちの顔や身体の見え方は、社会や文化のあり方

に強く影響されています。本プロジェクトでは、外見で人を判断する「ルッキズム」や、それによって生じる差別や心の痛みといった社会問題を解決することを目指しています。心理学や哲学、工学など、さまざまな分野の専門家が協力し、誰もが自分らしく心地よく過ごせる「未来の顔身体」のあり方をデザインし、新しい教育やルールを提案していきます。



科学研究費助成事業の獲得推進

科学研究費助成事業は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とした、日本学術振興会・文部科学省によって運営される「競争的研究費制度」です。

本学では、科学研究費助成事業による研究活動を研究の更なる発展や研究成果の社会還元につながる活動と位置づけ、その獲得を推進し、本学における研究活動の活性化に取り組んでいます。

2025（令和7）年度 科学研究費助成事業 採択状況一覧

研究種目	件数	助成金額（千円）
学術変革領域研究 (A) 総括班・計画班	2	44,070
学術変革領域研究 (A) 公募研究	4	16,510
基盤研究 (A)	8	66,430
基盤研究 (B)	38	175,370
基盤研究 (C)	150	186,615
挑戦的研究 (開拓)	2	7,280
挑戦的研究 (萌芽)	9	18,720
若手研究	42	53,950
「基盤研究 (C)」及び「若手研究」における 独立基盤形成支援 (試行)	5	3,380
研究活動スタート支援	4	5,590
特別研究員奨励費	16	15,370
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)	1	15,600
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	2	8,060
研究成果公開促進費 (学術図書)	4	5,300
合 計	287	622,245

(2026年3月31日時点)

研究戦略本部

研究戦略本部は、本大学における全学的な研究活動の活性化を図り、産業界や官公庁等の学外組織との連携を推進するため、2015年4月に設置された研究推進支援本部を起源としますが、本学の全学的な研究戦略に基づく研究推進、研究力強化を図るための司令塔として、2025年4月に「研究戦略本部」へと組織の機能強化を伴うリニューアルを行いました。今後は、多様な分野における卓越した研究を基盤とした学際的・分野融合的研究とともに、「社会実装、イノベーション創出」を活動の中心に据え、研究の立案からプロジェクト管理・運営や知的財産の管理、技術移転まで、迅速かつ柔軟な支援を行い、研究成果の社会還元を実現します。

2026年度には以下の8つの研究ユニットが新設されました

下水道政策研究ユニット

研究課題：持続的な下水道事業運営に関する研究

専任研究員：山村寛（理工学術院教授）、加藤裕之（機構教授）

高齢社会における信託活用のグランドデザインに関する研究ユニットII

研究課題：高齢社会における金融包摂に関し、信託・任意後見・金融の連携について理論的・実証的な研究を通じ、具体的な提言を纏めるもの

専任研究員：新井誠（機構教授）、遠藤研一郎（法学部教授）、八谷博喜（機構教授）

不動産ビジネスデザイン研究ユニット

研究課題：不動産に関わる経済政策及び科学技術等の分野横断的な研究、社会実装の推進

専任研究員：石島博（法務研究科教授）、小林明彦（法務研究科教授）

環境知能インターフェース研究ユニット

研究課題：環境知能インターフェース技術の創出と社会実装に関する研究

専任研究員：三苫好治（理工学術院教授）、高田まゆら（理工学術院教授）、原田芳樹（理工学術院准教授）

気象予測の高精度化による水ビジネスの輸出と展開

研究課題：水災害の激甚化に備える最新の気象センサー・気象衛星等を活用して気象予測の高精度化を目指し、これに伴うオールジャパンでの水ビジネスモデルを構築・展開することで、我が国の水ビジネス輸出に挑む学際的研究

専任研究員：山田正（機構教授）、榎山和男（理工学術院教授）、手計太一（理工学術院教授）、寺井しおり

データサイエンスに基づくリスクコントロール

研究課題：気候変動を踏まえた水環境の保全と水災害の激甚化に対応したデータサイエンスに基づく我が国のリスクコントロールに貢献する学際的研究

専任研究員：山田正（機構教授）、榎山和男（理工学術院教授）、手計太一（理工学術院教授）、小山直紀（機構助教）

サイバー・フィジカル空間におけるセキュリティ研究ユニット

研究課題：高度化した通信ネットワーク環境におけるセキュリティ高度化のための実践的調査研究「辻井重男式 MELT-UP 研究」

専任研究員：山澤昌夫（機構教授）、佐藤信行（法務研究科教授）、鈴木伸治

X-tech 推進研究ユニット

研究課題：新分野のテクノロジー応用に関する分野融合・開拓研究

専任研究員：檀一平太（理工学術院教授）、久徳康史（国際経営学部教授）

世界をリードする多彩な研究ユニット一覧

研究ユニット名	資金提供機関	ユニット責任者
気候変動ユニット	環境省	渡邊 正孝 研究開発機構・機構教授
進化型群AIロボット研究開発ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）	國井 康晴 理工学術院・教授
東京東部低地の水災害とその社会的影響	民間企業	平川 大貴 理工学術院・教授
AI・データサイエンス社会実装ラボ II	民間企業	鎌倉 稔成 研究開発機構・機構教授
スマートサウンドデザイン研究ユニット	民間企業	戸井 武司 理工学術院・教授
生涯発達共生社会研究ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）／日本学術振興会	山口 真美 文学部・教授
リアルタイム洪水・氾濫予測研究開発ユニット	財団法人	山田 正 研究開発機構・機構教授
超高齢社会のインフラプロジェクト II	民間企業／財団法人	谷下 雅義 理工学術院・教授
沿岸域の持続可能性と革新を目指すデジタルツイン研究ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）／民間企業／地方自治体	有川 太郎 理工学術院・教授
水・汚泥処理の脱炭素化・DX化・高度化ユニット	民間企業／国土交通省／環境省	山村 寛 理工学術院・教授
ウォーターセイフティ研究ユニット	民間企業／財団法人	石川 仁憲 研究開発機構・機構教授
都市水管理の共創研究	港区共同研究／国際共同研究／民間企業／日本学術振興会	古米 弘明 研究開発機構・機構教授
大規模洪水時代の流域治水技術の研究プロジェクト	国土交通省／財団法人／民間企業	福岡 捷二 研究開発機構・機構教授
生涯学習プラットフォーム研究開発ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）	眞鍋 倫子 文学部・教授
ソフトロボティクス/ソフトアクチュエータ研究開発ユニット	日本学術振興会／民間企業／NEDO	中村 太郎 理工学術院・教授
分子配向研究ユニット	文部科学省／財団法人／民間企業	池田 富樹 研究開発機構・機構教授
安全な大規模リンケージデータの構築可能性に関する研究ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）	伊藤 伸介 経済学部・教授
PFAS分解・無害化のための技術開発	NEDO	山村 寛 理工学術院・教授
未来の顔身体/習慣化される身体の解明	日本学術振興会	山口 真美 文学部・教授
洋上風力発電施設建設における地盤の先進的調査・基礎設計法の開発	民間企業	齋藤 邦夫 研究開発機構・機構教授
下水道政策研究ユニット	民間企業	山村 寛 理工学術院・教授
高齢社会における信託活用のグランドデザインに関する研究ユニットII	民間企業／財団法人	新井 誠 研究開発機構・機構教授
不動産ビジネスデザイン研究ユニット	民間企業	石島 博 法務研究科・教授
環境知能インターフェース研究ユニット	日本学術振興会科学技術振興機構（JST）	三苫 好治 理工学術院・教授
気象予測の高精度化による水ビジネスの輸出と展開	財団法人／民間企業	山田 正 研究開発機構・機構教授
データサイエンスに基づくリスクコントロール	民間企業	山田 正 研究開発機構・機構教授
サイバー・フィジカル空間におけるセキュリティ研究ユニット	民間企業	山澤 昌夫 研究開発機構・機構教授
X-tech推進研究ユニット	日本学術振興会／民間企業	檀 一平太 理工学術院・教授

研究開発機構

研究開発機構は、大学の研究に対する社会的需要、学際的複合的な研究の必要性が高まる中で、外部資金を利用した学際的共同研究を推進し、産官学の研究交流を実施するための機関として、1999年に設立されました。

研究活動は、プロジェクトごとに設立された研究ユニットで行われています。各ユニットは研究課題・目的・期間・条件を明確にして、外部資

金の範囲内で活動します。これにより、直面する社会的課題に対して、基礎的研究や独創的技術・理論における実際的な成果が期待できます。研究開発機構の研究施設として、後楽園キャンパスに、個人研究室・共同機器室、会議室などを設けています。また、本機構では、情報ネットワークや事務サポート体制を整え、よりハイレベルな研究成果を創出するための支援を行っています。

 **研究開発機構**
Research and Development Initiative



詳細はこちらから▶